



令和2年1月15日
第829号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
00160-6-25389
振替 00160-6-25389
編集 発行人 盛川英治
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

令和2年度 政府予算 本会要望概ね達成 第11回特別弔慰金支給決まる

令和2年度政府予算案は、十二月二十日午前の閣議で決定した。本会関係では、令和二年四月一日を基準日とした第十一回特別弔慰金の支給や、公務扶助料、遺族年金等の据え置きをはじめ、遺骨収集事業関係費の充実、戦没者遺児による慰霊友好親善事業の実施等その他の処遇改善項目に係る予算も、概ね概算要求通りに計上された。

遺家族議員協議会総会に陳情

政府は二十日、一般会計総額を百一兆六千五百八十億円とする令和二年度予算案を閣議決定した。前年度当初予算に比べ一兆二千九億円増え、二年連続で百兆円を超えた。医療、介護や幼児教育の無償化のほか、今年四月から始まる大学といった高等教育の無償化に使用される社会保障費や、災害に強い国土を作る「国土強靱化」対策費のほか、キャッシュレス決済へのポイント還元事業などの経費が盛り込まれている。一方、新規国債の発行



遺家族議員協議会総会で陳情する水落敏栄本会会長
=12月9日、自由民主党会館で

新年のごあいさつ



日本遺族会会長
参議院議員
水落敏栄

ご遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。昨年は、九州北部豪雨、台風十五、十九号等により広範囲で甚大な被害が発生しました。不幸にも亡くなられた皆様のご冥福をお祈りし、被災され、いまなお不自由な暮らしを余儀なくされている皆様にお見舞いを申し上げます。今後とも政府・与党一丸となって、被災地の復

を十年連続で減らすなど財政健全化にも配慮する、経済再生と財政再建の両立を目指しているが、厳しい状況が続く。このような極めて厳しい財政状況の中、本会は十二月九日、正午に自民党本部で開かれた遺家族議員協議会総会に正副会長を十年連続で減らすなど財政健全化にも配慮する、経済再生と財政再建の両立を目指しているが、厳しい状況が続く。このように極めて厳しい財政状況の中、本会は十二月九日、正午に自民党本部で開かれた遺家族議員協議会総会に正副会長

旧復興はもとより、災害に強い国づくりにむけ全力を尽くして参ります。さて、およそ二百年ぶりの生前退位で、御代替わりが行われた昨年は、一年を通じて、ご即位にまつわる行事が催され、我が国にとって記念すべき年となりました。即位を内外に宣言する即位礼正殿の儀では、百八十六カ国及び国際機関の各界代表およそ二千人が参列され、祝賀御列の

儀には、およそ十二万人が天皇皇后両陛下の御即位を祝い、沿道に駆け付けた。私は、畏れ多くも全ての式典に参列を許され、両陛下の堂々たるお姿を拝見すると共に、たくさんの人々と喜びを共にすることができました。天皇陛下が、国内外問わずこれほど多くの人々に敬慕の念を抱かれるのは、常に国民の幸せと、世界の平和を願う、国民に寄り添われた歴代の天皇の御心が、老若男女様々な世代に幅広く浸透している所以であり、今上陛下もまた、上皇陛下のなされるよう習うと宣

謹哀悼

井上芳男氏 日本遺族会元常務理事(鳥取県遺族会元会長)
十二月十七日、逝去された。九十四歳。葬儀は米子市・葬仙米子葬祭会館で行われた。喪主は長男、賢明氏。
大賀正枝氏 日本遺族会元評議員(山口県遺族会元副会長)
十二月十四日、逝去された。八十歳。葬儀は萩市・萩やすらぎ苑で行われた。喪主は夫、定一氏。

声なき声

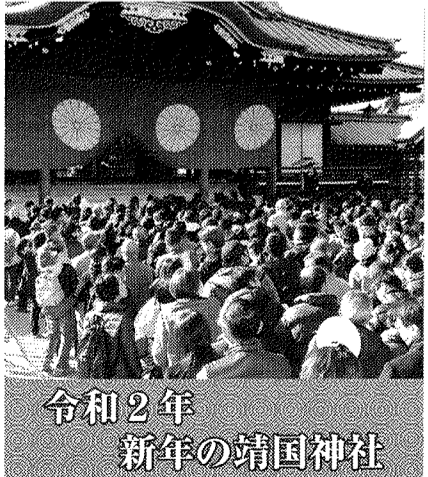
今年56年ぶりに東京で夏季五輪が開催されるほか、パリオリンピックも東京で開催される。東日本大震災から9年、阪神淡路大震災から25年を数え、台風などの自然災害も相次いだ中、政府は「復興五輪」を大会理念に掲げ、災害を乗り越えて進む日本の姿を世界にアピールする絶好の機会となろう。令和2年度の政府予算案は、昨年の12月20日に閣議決定され、概ね要求に副った結果となった。算獲得に向けての遺族会運動について、少し振り返りたい。寒風吹き荒む12月の20日前後に、全国の遺族代表が九段会館大ホールに参集し、要望貫徹に向け立ち上がり、会場は熱気に溢れている。バスを20数台連ね、国会に陳情に行く姿は壮観であった。代表者は連日、自民党本部や地元選出議員に面会を求め、時には座り込みを敢行し、政府予算が決まる年末の29、30日頃まで滞京して、遺族の処遇改善に努めていた。昭和37年度の公務扶助料・遺族年金等受給者数は約167万人を数えたが、平成31年3月末では、1万7千人を割り込んだ。戦後の混乱期を生抜き、日本の復興の一翼を担った遺族も、鬼籍に入られた。人生百年、皆様のご長寿を心から祈念するものである。(M)

謹賀新年

一般財団法人
日本遺族会
会長 水落敏栄
副会長 宇田川 劔雄
同 市來 健之助
専務理事 畔上 和男
他役職員一同

洗心懇談会(順不同)

東郷 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会
特攻隊戦没者慰霊顕彰会
三笠 笠保 存会
中央 乃木 会
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
隊友 友連 会
日本郷友連盟
水交 会
借国 行 社
靖国 神 社
英霊にこたえる会
日本遺族会



令和2年
新年の靖国神社

要望事項実現に向け

第75回全国遺族会を開催

日本遺族会は、十二月九日、東京千代田区の自由民主会館にて、第七十五回全国戦没者遺族大会を開催し、令和二年度政府予算に本会の要望事項が完全実現するよう決議した。大会終了後、関係大臣、自民党所属国会議員らに陳情運動を行い、本会の要望事項は政府予算に概ね盛り込まれた。

大会は午後二時二十分、盛川英治事務局長の司会で始まり、宇田川勲副会長が開会を宣言し、国歌斉唱、戦没者に黙とうをささげた。

最初に水落敏栄会長が「令和の御代も平和な時代にする決意と、英霊顕彰、処遇改善、遺骨収集事業等問題解決のため、青年部とともに粘り強く活動してまいります」と挨拶した。続いて、高市

早苗総務大臣、加藤勝信厚生労働大臣、衛藤晟一一億総活躍・沖縄北方担当大臣、自民党の鈴木俊一総務会長ら来賓が挨拶に立ち、遺族会の要望事項の実現に向け努力することを表明した。

会場には、多数の自民党所属国会議員が駆け付け、要望事項に向けて熱気あふれる大会となった。大会終了後、各都道府県遺族代表は、地元選出の自民党所属国会議員に粘り強く陳情し、運動を展開した結果、令和二年度政府予算における戦没者遺族の処遇改善は、公務扶助料・遺族年金等は据え置きとなり、遺骨収集事業、戦没者遺児によ

遺骨収集を実施

パラオ等から10柱奉還

日本戦没者遺骨収集推進協会(JARRWC)は、パラオ諸島、ビスマーク・ソロモン諸島の遺骨収集派遣を実施した。本会からは十二人が参加協力して、十柱の遺骨が日本に奉還された。

硫黄島戦没者遺骨収集派遣団(第三回収集は、5億7600万円) 昭和館の運営に係る経費(うち、昭和館設備の特六、戦没者遺族相談員の別修繕に係る経費1億600万円)

未送還遺骨の情報収集

ミャンマー・東部ニューギニアで

日本戦没者遺骨収集推進協会が実施の、海外に未だ残されている未送還の遺骨情報収集等を行なう現地調査に、本会は参加協力を行った。



ママラ川中流付近で作業に従事する団員ら =12月6日、ガダルカナル島で

令和二年度政府予算における戦没者遺族処遇改善項目

- 公務扶助料等(別表)
- 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給
10億6900万円
支給事務経費の増(支給対象件数 約85万人)
- 遺骨収集事業等の推進
30億4000万円
(1)硫黄島遺骨収集事業(滑走路地区の面的調査等)
13億6100万円
(2)南方・旧ソ連地域遺骨収集事業
10億7200万円
- ①現地調査
5億1500万円【実施地域・12地域】フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、マリアナ諸島、ミャンマー、インド、トラック諸島、マシシャル諸島、その他、インドネシア、パラオ諸島、旧ソ連地域
- ②遺骨収集
4億2700万円【実施地域・18地域】フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、インドネシア、パラオ諸島、旧ソ連地域
- ③法人運営経費
1億3000万円
- ④海外公文書館の資料収集
1700万円
- ⑤鑑定
5億2100万円
- ⑥鑑定実施体制の充実
3億5300万円
- ⑦戦没者遺骨に関する研究の推進
1億6800万円
- ⑧慰霊巡拝等
4億3300万円
- ⑨慰霊巡拝
9800万円【実施地域・12地域】フィリピン、東部ニューギニア、ビス
- ⑩慰霊友好親善事業
2億5900万円【広域地域・14地域】792人、特定地域・3地域108人
- 五、昭和館事業

公務扶助料等年額一覧表

種類	令和2年4月より(月額)	対象遺族
公務扶助料	1,966,800(163,900)	軍人(少佐まで同額)
特例扶助料	1,573,500(131,125)	軍人(少将まで同額)
扶養加給	72,000	軍人
先順位遺族年金	1,966,800(163,900)	軍属、一部軍人
同 遺族給与金	1,966,800(163,900)	準軍属
同 特例遺族年金	1,573,500(131,120)	軍属・一部軍人
同 特例遺族給与金	1,573,500(131,120)	準軍属
後順位遺族年金	72,000	軍属、一部軍人
同 特例遺族給与金	56,400	準軍属
他に公扶受給者がある年	193,200	軍人
特設年金	456,400	軍人、軍属、準軍属
特例特設年金	335,000	同上
対馬丸特別支出金	1件・年額 1,376,760	遭難学童

(注)上記の年額表は、日本遺族会事務局による試算で、多少異動することもあるので、ご了承下さい。

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針に基づき、ホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929
●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名は「日本遺族会」一般財団法人日本遺族会：ザイニホンイソクカイ
※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

好親善 友善 慰親 靈善

ミャンマーを実施

各地で亡き父へ語りかける

日本遺族会の「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」が実施され、ミャンマーの各地に三十七人の遺児が参加した。一行は亡き父の眠る各地を訪れ、慰霊追悼を行い小学校等に学用品等を寄贈した。また、ミャンマー訪問中の三笠宮瑤子女王殿下より訪問団にご接見の栄を賜った。

三笠宮瑤子女王殿下にご接見の栄を賜る

水落敏栄日本遺族会会 訪問団は、十二月十三日 長を総括団長とする、



三笠宮瑤子女王殿下にご接見賜る
=12月14日、ヤンゴン市内の栄をホテルで



小学校を訪問し、子供たちに学用品等を贈る団員=12月16日、ブロームで



全戦没者追悼式で追悼の辞を読みあげる水落敏栄総括団長(本会会長)=12月19日、ヤンゴンで

遺児の参加者募集 中国地域を予定

募集要項は次のとおり。
▼地域及び時期
A班 北京、鄭州、太原
B班 上海、南京、武漢
C班 上海、武漢、岳陽、長沙
D班 広州、桂林、長沙
令和2年3月23日(月)～3月31日(火)
▼参加費 10万円
▼参加資格 戦没者の遺児。平成30年度参加者等個人負担となる。

▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり申込書の記入項目の全てに記入を要するの。事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会に相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。
▼申込締切 1月23日
※参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行する。

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願ひしていただく賛助金につきましては、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。
なお、大変恐縮ではございますが都道府県名にについては、送金方法により所在地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。
賛同者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)
永澤庄一郎、藤本征二、安部信夫、辻本大藏、橋本泰子、山村太良、高田純一、高田伸穂、鈴木任、欣、片桐邦夫、宗田朋子、尾藤秀夫、鈴木京子、山本美江子、今野マル子、高坂吉輝、三浦淳、石橋美代子、大塚恵子、石田梶子、栗原健昇、曾我幸彦、依田キク子、林美喜

子、山崎正博、小島和夫、林清、伊奈忠勝、小野弘子、八木橋弘子、小田島洋子、谷忠義、薄井節子、大野敏明、打木昇、谷悦男、堀江優、ヤスハラキヨウコ、イシカワミキコ、ヒエダヒトミ(以上、十一月一日から十二月末日まで) 皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨帰還、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円(1年間 12回 税金・送料込)
お申込み→日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521
FAX03-3261-9191

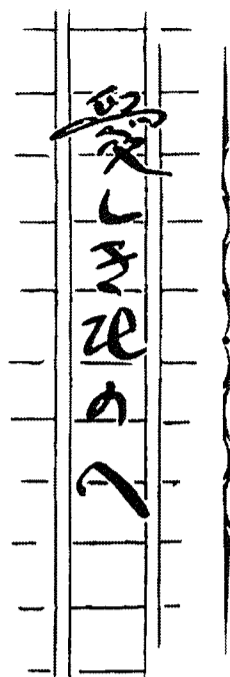
巡回特別企画展を開催

長崎県で七、〇三三人が来場

昭和館

昭和館が毎年実施している巡回特別企画展「戦中・戦後のくらし長崎展」が、十一月三十日(土)から十二月十五日(日)まで長崎市の長崎歴史文化博物館三階企画展示室で開催された。この企画展では、開催地の長崎県に因縁する実物資料・写真・映像等が展示され、七千人を超える入場者で賑わいをみせた。

東京都の九段下にある「から巡回特別企画展を開」の開催となる今回の企画展昭和館では、平成十三年「催している。三十六回」展では、約三百六十点の



大和魂

陸軍兵長 吉田 稔

昭和二十年一月二十日
フィリピン・ルソン島ラウニオン州にて戦死
群馬県桐生市小曾根町出身二十四歳

出陣に際して一筆申し上げました。

当地にて明日への英気を養ひ西代旅館には、いろいろ御世話様になり愈々出発も真近になり、今晚は一同十数名にて質素な出陣の式を施行し実に愉快な一時でした。

この上は大いに神洲の正気を振り起して、断固聖戦完遂の道に向かって邁進し、万一の場合は従容として死に就く覚悟で御座います。

七月二十八日晚

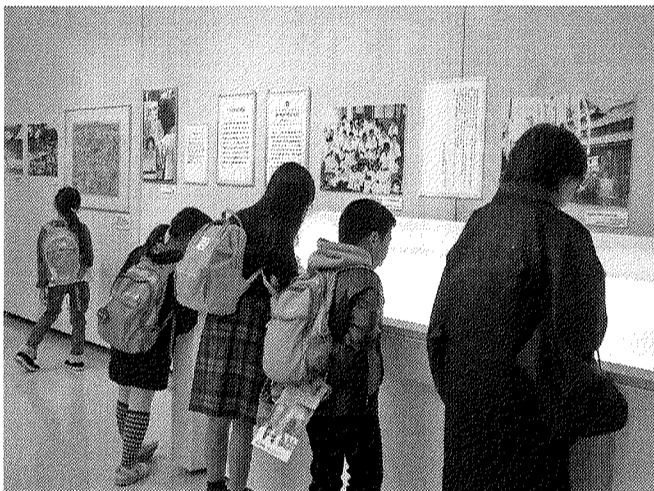
稔より

父上様

身はたとひ南の海に散らむとも
永遠に生きなむ此の大和魂

【令和二年一月靖国神社頭掲示】
愛しきものへ

展示資料のうち、長崎県に因縁する資料が約二百五十点紹介された。会期中、県内各地の遺族会をはじめ多くの人が来場し、来場者は七千三百十三人にも上った。会場ロビーでは、昭和館以外では初公開となる、俳優の仲代達矢氏が戦中・戦後の体験を語る証言映像も上映され、来場者の注目を集めた。



展示資料を見学する来場者＝長崎市で

の寄せ書きや、三菱長崎造船所で勤労働員していた学徒への表彰状、戦後、佐世保港で発行された引揚証明書など、当時の人々の生活や想いを伝える資料が展示された。また、「慰霊の旅」と題したコーナーでは、ご遺族の方々の遺骨収集や慰霊友好親善などの活動も紹介された。

昭和館以外では初公開となる永井隆の代表作『この子を残して』の紙芝居原画や、その作者である日本画家・安西啓明とやり取りされた書簡等が展示された。「昭和三十

年代の長崎」と題したコーナーでは、昭和の長崎の風景と子どもたちの写真を多く手掛けた堺屋修一の作品が紹介された。(問い合わせ先・昭和館学芸部〇三三三三二二二五七七)

地方(4) 各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。
▼福島県 11月28日 摩文仁の丘・沖繩「ふくしまの塔」慰霊祭(47人)

▼茨城県 12月3日 令和元年度茨城県戦没者遺族大会(1150人)
▼福島県 12月8日 令和元年度福島県遺族会研修会(108人)
▼徳島県 12月14日 第63回語り部事業(35人)

宮島市長から日章旗を受け取った勝則さん(左)＝10月11日、知多市役所で

2県で日章旗返還

OBONソサイエティ

本会が厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者遺留品の返還に伴う調査」事業で、戦没者の遺品の返還運動を推進しているOBONソサイエティから本会に照会があった遺留品について、愛知県と宮崎県でそれぞれ遺族に返還された。愛知県では、オレゴン州のグレッグ・マーフィーさんが米兵だった父から譲り受け保管していた日章旗が、知多市出



宮島市長から日章旗を受け取った勝則さん(左)＝10月11日、知多市役所で

身で、西カリオン諸島で戦死した佐藤豊一さんのものであることが判明した。十月十一日に知多市役所市長室で宮島市長から甥の佐藤勝則さんに引き渡された。勝則さんは「ご先祖さまや、母、地域の人にお見せし、平和のために使っていただけたらいい」と話した。

宮崎県では、イリノイ州在住のブレンダ・トコピンスキーさんが元米兵の叔父から譲り受けた日章旗が、フィリピンで戦

九段短歌

作品を
お寄せ
ください。

選者 安元 百合子
加古川市 岡田 徹也
佐世保市 田中 暁

神武隊と名づけて果てし若者の知覚の基地に秋風の吹く
富士吉田市 菅沼 勝由
山寺に学童疎開の石碑立ち家族と別れしらの声する

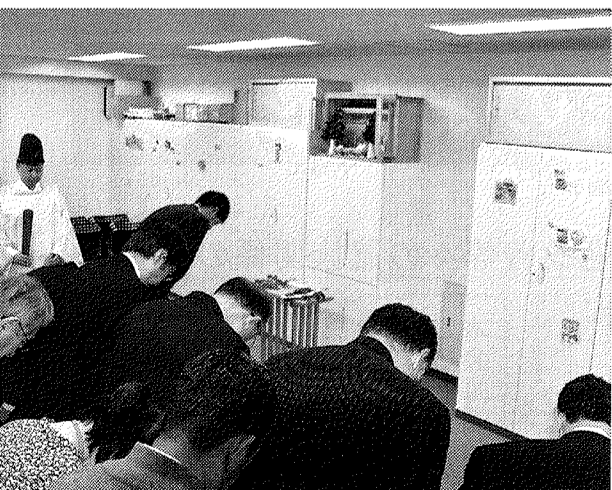
軍需にと敷の櫛木切り出さる行先も用途も知る由もなし
小諸市 塩川 篤子
南相馬市 原 芳広

戦死せし報に涙の母逝きて今年迎へし三十三回忌
長浜市 雨森 貴子
父のこと話してくれた人ら逝き思ひ出す時はなくな

る
日本と友好樹立二十五周年パオの土に安らげ父よ
青森県 田中 恭子
靖国の改修終えて今日もまた永久の平和を願う人波
甲州市 三森 一雄
最高齢九十七歳の遺族妻口一文字に車椅子に列す
千葉市 石橋 嘉子

明けましておめでとございます。
ご遺族皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
新しき年の初めに畏みて令和の御代の弥栄祈る
今年はおリンピック、パラリンピックが開催されます。盛会にそして安全に終わるよう願っています。
元旦に届く年賀状は嬉しいものですが、ルーツは奈良時代には東大寺に納められた布にあって挨拶文という説があるそうです。メール等の影響で葉書は減っているそうです。一寸淋しいですね。

御社奉斎
靖国神社の奉仕で
十二月二十三日、本会事務所の御社奉斎が執り行われた。
御社奉斎は午前十一時、靖国神社の奉仕で執り行われ、祝詞奏上に続き玉串が奉斎された。
御社奉斎には畔上和男専務理事他事務局職員が参列し、本会事業の達成と戦没者遺族の方々等の健安を祈願した。



靖国神社の奉仕で御社奉斎を挙行＝12月23日、千代田会館で